



平成30年度 学校教育改善アンケート集計結果

さいたま市立大宮小学校
校長 石井 寛

昨年11月に、「大宮小学校教育改善アンケート」を実施し、保護者の皆様からたくさんのご意見をいただきました。その後、お寄せいただいたアンケートと学校で行った児童向けアンケート（4年生以上）、それに本校教職員の意見をあわせて集計し、今年度の教育活動の成果と課題や来年度に向けてのよりよい取組について検討を重ねてまいりました。その結果や改善点がまとまりましたので報告いたします。なお、アンケート結果についてはこの文書をもって公表とします。

<本資料をまとめる方針>

- ・アンケート結果を「よくできている…4 おおむねできている…3 あまりできていない…2 できていない…1」と点数化し、その平均点を示しました。
- ・「～記述欄より～」に記載されているものは保護者からの御意見です。内容については、その趣旨をとらえて要約し、同様のものについては重複しないように記載しました。
- ・個別に応じる必要のある質問や問い合わせについては、記載せず、個別に対応させていただきました。

あかるく		質問項目	児童	保護者	教職員
Q 1	お子さんは学校に楽しく通っている。		3.50	3.47	3.19
Q 2	お子さんは友達と仲よく生活できている。		3.66	3.40	3.50
Q 3	お子さんは自分から進んで物事に取り組もうとしている。		3.29	3.11	3.46
Q 4	お子さんは心を潤す4つの言葉（おはようございます、ありがとうございます、ごめんなさい、はい）が身に付いている。		3.46	3.26	3.38
Q 5	学校は、いじめの防止、早期対応に真剣に取り組んでいる。		3.47	3.15	3.65

～記述欄より～

- 楽しく学校で学習できているようで嬉しく思います。
- あいさつを通じて、子供達と学校の先生方のコミュニケーションが上手くとれていると思います。
- 子どもと先生の距離が近く、不安な事やいやなことを学校で先生に話せるようないい環境だと思います。
- ▲登校時地域の見守りボランティアの方々へあいさつが少ないと感じる。
- ▲いじめの防止、早期解決に関して、実際に学校が取り組んでいる活動が具体的に見えてこない。

かしこく		質問項目	児童	保護者	教職員
Q 6	学校は、お子さんにとってわかりやすい授業を行っている。		3.38	3.33	3.13
Q 7	お子さんは学校の授業や家庭学習など、学習に対しやる気をもって取り組んでいる。		3.41	3.10	3.21
Q 8	お子さんの学習状況に対し、先生から称賛や励ましの言葉掛けが行われている。		3.12	3.31	3.22
Q 9	お子さんは学年に応じた学力が身に付いている。		3.52	3.24	3.16
Q 10	学校は、お子さんが学習に関する質問や不安などを先生に相談しやすい環境になっている。		3.16	3.13	3.08

～記述欄より～

- 授業を楽しくしようと努力していただいて、子供も自分らしく授業を受けられているように思います。
- 先生の授業は安心感があります。
- 先生にほめられたり、励まされたりする時が多いようで大変ありがたいです。
- ▲先生がいつもいそがしそうで、時間をとってしまうのが悪くてなかなかちょっとした質問ができないときがあるようです。
- ▲ほめる、個性を認める教育にしてほしい。いろいろな面でほめられるようにしてほしい。

たくましく

		質問項目	児童	保護者	教職員
Q11	学校は、交通安全に対する知識・態度を高めるための指導を行っている。		3.70	3.29	3.46
Q12	学校は、防災・防犯に対する知識・態度を高めるための指導を行っている。		3.63	3.31	3.50
Q13	学校は、健康管理に対する知識・態度を高めるための指導を行っている。		3.33	3.29	3.54
Q14	学校は何事にもねばり強く、最後まで取り組もうとする気持ちを育てるための指導を行っている。		3.36	3.16	3.35
Q15	学校は、体力づくりに対する知識・態度を高めるための指導を行っている。		3.28	3.29	3.35

～記述欄より～

- 保健だより等で、学校での身体面でも状況を教えていただき、助かっています。
- 交通ルールを学校や地域のパトロールの方々がしっかり教えてくれるようです。
- 苦手な事や気がすすまない事にも、何とか取り組めるように指導していただいています。
- ▲下校班の列がよく乱れていて危なっかしいです。
- ▲イベントが多いからか、一つ一つがかけ足で行われているように感じます。

学校行事・その他の活動

		質問項目	児童	保護者	教職員
Q16	学校行事は、いろいろ工夫され実施されている。		3.59	3.53	3.46
Q17	学校は、図書館の活用・朝の読書・読み聞かせなどにより、読書への関心を高めるための教育を行っている。		3.20	3.52	3.52
Q18	学校は、おはよう活動（駅前清掃・校内清掃）等、他に役立つとする気持ちを育てるための教育を行っている。		3.57	3.38	2.96

～記述欄より～

- 行事に向けて話し合ったり、練習したり、準備したり、一つ一つのつみ重ねが大切である事を身に付けている。
- 一年を通じて、様々な行事が行われ、地域の方々にも公開するところは素晴らしいです。
- 読書も、力を入れられており、読書に関心を持てるよう、努力されていると思います。
- ▲行事が工夫されているとはあまり感じない、年間を通して同じ行事が行われているようだ。
- ▲行事の時期を分散していただけると助かります。

家庭・地域との連携

		質問項目	保護者	教職員
Q19	学校は、保護者や地域の方々に、「たより」や「ホームページ」等で、学校の取組や子どもたちの様子をわかりやすく伝えている。		3.49	3.50
Q20	学校は保護者の相談や要望に、適切に対応している。		3.33	3.46

～記述欄より～

- 毎日の学校の様子が載せられていて、楽しく拝見しています。あまり報告しない我が子も、たまにHPで見たことについては思い出して話をしてくれたりします。
- 学校に地域の方々が足を運んで下さることが多い様に感じます。
- お忙しい中、丁寧に対応して頂いていると思います。
- ▲おたよりでの案内でわかりにくいものがあります。
- ▲学校と保護者の信頼関係を築くための効果的な機会を検討できたらいいと思います。

よりよい学校を目指して

前年度と比較すると、児童の「毎日の授業はわかりやすく楽しい」、「授業の後に質問やわからないことを先生に聞きに行きやすい」の値が増加しました。これは、学校課題研修で取り組んでいる「協働的問題解決力」を高める指導が成果を出していると考えます。一方で、児童・保護者ともに、「先生からの励ましの言葉がけが行われている」の値は減少しました。今後、子どもたちへの「勇気づけ」を一層積極的に行っていきます。

いじめの防止や学力向上については、さまざまなご意見をいただきました。いじめ防止も含め、全ての教育活動で、教師と児童、児童同士の信頼関係を深めることが大切だと考えます。そのために、来年度は学年・学級裁量で活動できる「学級の時間」を増やします。また、児童がより落ち着いて学習できるようにするために、家庭訪問を個人面談に変更して授業時数を確保したり、木曜日課を一部変更したりします。

生き生きとした子どもを育てるためには、学校・家庭・地域の協働が大切であると思います。今後も引き続きご理解ご協力をよろしくお願いします。